

8 防災対策の充実

【基本的な考え方】

東日本大震災を踏まえ防災対策の充実を図る

- 東日本大震災を契機に新たに作成した指導資料等を活用し、引き続き、防災教育に取り組む。
- 教育局と県立学校及び社会教育施設等の情報伝達訓練を行うとともに、保護者も参加する連絡訓練や市町村などとの連携強化に取り組む。
- 災害発生時に児童・生徒等を保護するために必要な備品等及び全教職員を対象とした備蓄食糧を計画的に整備する。
- 生徒・教職員の安全確保はもとより、津波被害から地域住民の命を守るため、県立高校の屋上に手摺等を整備する。

(1) 県立高校津波避難施設の整備

単位：千円

事業名等	事業の内容等	平成24年度 予算額
⑨ 県立高校津波避難施設整備（再掲）	津波浸水予測図（素案）に基づき、津波の浸水域内に立地している県立高校2校（海洋科学高校、三浦臨海高校）の屋上に手摺等を整備する。	16,800

(2) 災害時に必要な備蓄備品等の整備

単位：千円

事業名等	事業の内容等	平成24年度 予算額
⑨ 県立学校災害対策用備品等整備費	児童・生徒等の保護に必要な備品等を計画的に整備する。（平成24年度は、すべての県立特別支援学校等を対象に発電機及び投光器を整備）	3,787
⑩ 県立学校災害対策用備蓄食糧整備費	児童・生徒等の保護のため、職務として学校に留まる全教職員の備蓄食糧を計画的に整備するとともに、県立特別支援学校の児童・生徒用備蓄食糧を更新する。	8,535
合 計		29,122

（問い合わせ先）(1)については、教育局企画調整部まなびや計画推進課 伊藤 電話 045-210-8062
 (2)については、教育局企画調整部広報情報課 竹村 電話 045-210-8073